

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M314M201		臨床病態学(内科) (Clinical Pathophysiology: Internal Medicine)					コース共通専門分野		対面(含 オンデマンド型)						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	2	2	医学部先進医療科学科	通年	月5,火2,火4,水2,水4,木4	日本語			オムニバス						
担当教員	氏名 手嶋 泰之、正木 孝幸、緒方 正男、高橋 尚彦、小宮 幸作、柴田 洋孝 E-mail teshima@oita-u.ac.jp 内線 32701														
授業の概要	臓器の解剖学的構造と生理学的機能を関連づけ、各種疾患の病態生理、検査・診断方法、治療法、予後について学修する。医療チームの一員として従事するうえで必要な臨床医学の知識を身につける。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	様々な症状から考えられる疾患を列挙できる														
目標2	疾患を正しく分類して概要を説明できる														
目標3	疾患の原因、経過、予後について説明できる														
目標4	病態の把握に必要な検査と数値を説明できる														
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							5	1	1	1	1	1			
授業の内容															
1	症候論(1)(塩田 星児)														
2	症候論(2)(塩田 星児)														
3	症候論(3)(塩田 星児)														
4	消化器(1)消化性潰瘍(水上 一弘)														
5	消化器(2)潰瘍性大腸炎、クローン病(水上 一弘)														
6	消化器(3)総胆管結石、黄疸、膵炎(水上 一弘)														
7	血液(1)貧血(緒方 正男)														
8	血液(2)造血器腫瘍(緒方 正男)														
9	血液(3)凝固異常、出血傾向(緒方 正男)														
10	呼吸器(1)気道感染症、肺炎(小宮 幸作)														
11	呼吸器(2)気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(小宮 幸作)														
12	呼吸器(3)好酸菌症、間質性肺疾患(小宮 幸作)														
13	循環器(1)不整脈(手嶋 泰之)														
14	循環器(2)虚血性心疾患(手嶋 泰之)														
15	循環器(3)心不全(手嶋 泰之)														
16	感染症(1)微生物と免疫応答、診断法と抗菌薬療法(平松 和史)														
17	感染症(2)敗血症、日和見感染症(平松 和史)														
18	感染症(3)耐性菌感染症、感染制御(平松 和史)														
19	腎(1)症候と検査(福田 顕弘)														
20	腎(2)原発性、続発性腎疾患(福田 顕弘)														
21	腎(3)腎不全、透析(福田 顕弘)														
22	内分泌・代謝(1)視床下部、下垂体(正木 孝幸)														
23	内分泌・代謝(2)甲状腺、副腎(正木 孝幸)														
24	内分泌・代謝(3)糖尿病の診断と病態(正木 孝幸)														
25	内分泌・代謝(4)糖尿病の治療、肥満、高尿酸血症(正木 孝幸)														
26	免疫・アレルギー(1)免疫(尾崎 貴士)														
27	免疫・アレルギー(2)アレルギー(尾崎 貴士)														
28	免疫・アレルギー(3)リウマチ、膠原病(尾崎 貴士)														
29	遺伝(1)遺伝のしくみ、メンデル遺伝(正木 孝幸)														
30	遺伝(2)多因子遺伝、遺伝カウンセリング(正木 孝幸)														
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造					A:質疑応答による理解度の確認 B:発問 C:症例や動画によって鑑別診断を考察する。					工 夫 そ の 他 の ・講義内容の理解を深めるため、アウトプットを行なう ・症例や動画を使い理解を深める				

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	・教科書、参考書を用いて次回学習内容を予習する（16h）										
	事後学修	・講義に関連した書物を読む（16h） ・グループ毎に講義内容を復習する（16h）										
	想定時間合計	48										
教科書	・臨床医学総論 第2版 篠原一彦、小谷透 著 医歯薬出版（2020年） ・系統看護学講座 成人看護学[2]呼吸器[3]循環器[4]血液・造血器[5]消化器[6]内分泌・代謝[8]腎・泌尿器[11]アレルギー医学書院											
参考書	病気が見える Vol 1-8 MEDIC MEDIA社											
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	筆記試験	100%										
注意事項	Moodleに授業資料が掲示された場合は必ず確認をして授業に臨むこと。											
備考	附属病院の臨床の第一線で活躍されている医師が講師となる。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無	有無											
教員の 実務 経験	医師 手嶋 泰之、正木 孝幸、緒方 正男、高橋 尚彦、小宮 幸作、柴田 洋孝											
実務経験を いかした教 育内容	臨床経験を生かした講義、アクティブラーニングを行なう											